

# 第5期 雄武町総合計画

# 後期実施計画書

様式1

No. 09010140

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成23年度～平成25年度 ・全体事業費 26,294千円 ・交配延回数 2,720回  平成26年度～平成28年度 ・全体事業費 13,500千円 ・交配延回数 3,600回
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	農業生産拡大緊急対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	ホルスタイン種への交配回数	関係課	#N/A	
事業目標	1,200回	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武町農業生産拡大緊急対策事業補助金交付要綱	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	本町の酪農家が安定的な営農活動を図るため、雌雄判別精子の交配による優良雌牛を生産し、生乳生産量の拡大による酪農業の生産基盤の確立を目指す。	ホルスタイン種への雌雄判別精液の交配 延べ 1,800回 事業費 1,800回×6,600円≒12,000千円	ホルスタイン種への性判別精液の交配 延べ1,200回 事業費 1,200回×7,560円×50% ≒4,500千円	ホルスタイン種への性判別精液の交配 延べ1,200回 事業費 1,200回×7,560円×50% ≒4,500千円	ホルスタイン種への性判別精液の交配 延べ1,200回 事業費 1,200回×7,560円×50% ≒4,500千円	
	事業費(千円)	25,500	12,000	4,500	4,500	0
計 画 事 業 費	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	25,500	12,000	4,500	4,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,257	5,744	3,513	0	0
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		ホルスタイン種への雌雄判別精液の交配 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	ホルスタイン種への雌雄判別精液の交配 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	ホルスタイン種への雌雄判別精液の交配 ※事務事業評価結果	ホルスタイン種への雌雄判別精液の交配 ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	ホルスタイン種への交配 1,800回	ホルスタイン種への交配 1,200回	ホルスタイン種への交配 1,200回	ホルスタイン種への交配 1,200回
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	48%	78%	0%	0%
		全体達成率	23%	36%	36%	36%
	事業進捗状況	☆☆☆				#DIV/0! 36%

事業名	農業生産拡大緊急対策事業	評価者	管理職	職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者	職氏名	農務係長	南 慎一

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	雌雄判別精液交配数								
【抱える課題やニーズは】	農業資材等の高騰により酪農経営が圧迫され、搾乳後継牛の計画的な確保・更新に支障をきたしている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	優良な搾乳後継牛の安定確保	① 雌雄判別精液交配延べ回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1,200回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>998回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>83.2%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	1,200回	実績値	998回	達成度	83.2%
目標年度	平成26年度										
目標値	1,200回										
実績値	998回										
達成度	83.2%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生乳生産量の確保・増大	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雌雄判別精液購入費の一部補助	雌雄判別精液をホルスタイン種に交配した酪農家に対して、購入費の一部を補助した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	優良な搾乳後継牛の安定確保による酪農経営の安定化を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	受胎率の低下等雌雄判別精液の短所や社会的要因もあり、使用実績が伸び悩んでいる。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	飼養者に対し、飼養管理の徹底を求め、受胎率の向上による授精回数を削減し、コスト削減を進めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	補助を行うにあたり、自己負担と補助上限を定めており、公平であると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>B</b>	
	計画目標を下回ったところであるが、優れた躯体の雌牛が確保され、今後の生乳生産量の増加に期待が持てる。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/現状維持</b>	
	飼養者に対しアンケート調査を実施した結果、受胎率の低下等に伴い、使用回数が減ったことにより予算額を下回っているが、今後においてこの事業で生まれたメス牛の乳量や個体の検証も行う。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了  休止  廃止